

報道関係各位

日刊工業新聞社

# 2017 防災産業展 in 仙台

## 70社・団体 117小間での開催 最新の防災・減災技術、製品を展示

この度、日刊工業新聞社は、11月26日（日）・27日（月）までの2日間、仙台市の仙台国際センターにおいて、“防災・減災に関する専門展として「2017 防災産業展 in 仙台」を開催します。2015年に国連防災世界会議の関連事業として実施して以来の開催となります。今回は共催として内閣府（防災担当）、宮城県、仙台市、さらに協力として東北大学、日本防災会議が加わり、省庁や大学・研究機関はもちろんのこと、東北地域の連携と官民が一体となって防災の最新情報を発信してまいります。災害用ロボット、移動式電源車、各種シャッターなど社会インフラに関するものから、非常食や浄水器などの一般向け展示まで、70社・団体117小間が出展します。

併催事業としては、民間企業による『災害時における取り組み』、自治体や大学による『エネルギー自律型のまちづくり』、など、出展者ワークショップやセミナーを開催いたします。

会期中は東北の官公庁・自治体や企業の防災関係者をはじめ、海外からのメディア関係者、防災に興味をお持ちの方々の来場を予定しており、会期2日間で約4,000人以上の来場者を見込んでおります。

さらに今回は同時開催として、「防災推進国民大会 2017」と「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台 2017」と同時開催いたします。産学官の3イベントが同時開催することにより、様々な角度から防災・減災を学べる絶好の機会となります。「防災推進国民大会」及び「世界防災フォーラム」の詳細につきましては、以下URLよりご確認いただければと存じます。

防災3イベントへのご来場を心よりお待ちしております。

○「防災推進国民大会」（主催：防災推進国民大会 2017 実行委員会）

URL: <http://bosai-kokutai.jp/>

○「世界防災フォーラム/防災ダボス会議@仙台」（主催：世界防災フォーラム実行委員会）

URL: <http://www.worldbosaiforum.com/>

◆「防災産業展 in 仙台」に関するお問い合わせ先


運営事務局 担当：野口、阿部 日刊工業新聞社 業務局イベント事業部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL：03-5644-7221 FAX：03-5641-8321

E-mail: [j-event@media.nikkan.co.jp](mailto:j-event@media.nikkan.co.jp) URL: <http://biz.nikkan.co.jp/eve/tohoku-bousai/index.html>

《併催事業》

**出展者ワークショップ・セミナー** 会場:防災産業展内・特設会場 定員 100名 聴講無料

26日 (日)	12:30 ~ 13:10 <b>革新的防・減災のための「減災・サステナブル学」提案とその実践</b> 千葉大学 工学研究科・機械工学コース/教授 浅沼 博 氏	13:30 ~ 14:10 <b>仙台市が目指す「エネルギー自律型のまちづくり」</b> 東北大学金属材料研究所/特任教授 河野 龍興 氏 筑波大学生命環境科学研究所/教授 鈴木 石根 氏	27日 (月)	13:30 ~ 14:10 <b>日本の優れた防災技術で国際市場へ打って出る!</b> 日本防災プラットフォーム 事務局長 土井 章 氏	
	26日(日)	27日(月)			
	11:30 ~ 12:10 <b>NTTComサービスを支える災害対策取組について</b> エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ カスタマーサービス部 危機管理室 室長 岡田 昌己 氏	11:30 ~ 12:10 <b>今、富士通が提供する新しいICT技術について~ Wi-Fiでの情報通信ソリューション~</b> 富士通ネットワークソリューションズ インテグレーション&サービス本部 共通技術統括部 統括部長 皆川 裕之 氏			
14:30 ~ 15:10 <b>防災科研と産業界との新しい協働によるレジリエンス向上への取り組み</b> 防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長 臼田 裕一郎 氏ほか	12:30 ~ 13:10 <b>企業防災減災BCP支援について</b> ウェザーニューズ 防災気象コンテンツサービス マーケティングリーダー 中神 武志 氏				
15:30 ~ 16:10 <b>ゲリラ豪雨等による浸水被害への対策</b> 文化シャッター 商品開発部 開発一部 部長 廣瀬 誠 氏	14:30 ~ 15:10 <b>巨大地震に備える 防災体制を構築する免震技術</b> THK 取締役副社長 今野 宏 氏				
	15:30 ~ 16:10 <b>水のレジリエンスに貢献するKAITEKI製品のご紹介</b> 三菱ケミカルホールディングス 機能商品戦略室 担当部長 倉本 信二 氏 ウエルシイ 常務顧問 渡辺 愛彦 氏				

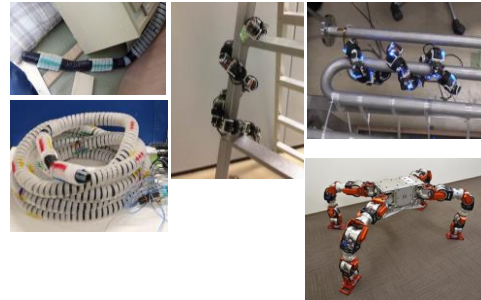
《注目企業のご紹介》

■ ImPACT タフ・ロボティクス・チャレンジ/国立研究開発法人 科学技術振興機構

・内閣府 ImPACT タフ・ロボティクス・チャレンジは、災害予防や緊急対応を目的とするロボットの研究開発プロジェクトです。

写真は、研究開発中の5種類のロボットプラットフォームです。

サイバー救助犬のサイバースーツ、索状ロボット（細径）の実機展示を行います。



■三和シャッター工業株式会社

安全・安心・快適を提供する三和シャッター工業では、記録的な台風や突発的な集中豪雨から建物やインフラを守り、安定的な業務遂行をサポートする浸水対策商品を各種ご用意しています。



■株式会社三菱ケミカルホールディングスグループ

三菱ケミカルホールディングスグループは、機能商品、素材、ヘルスケアの3つの事業分野製品を通じ「災害に強い安全・安心な KAITEKI 社会の実現」を目指しております。今回は、KAITEKI 防災・減災貢献 38 製品の中から水関連で貢献する 1. 自立分散型給水システム【地下水膜ろ過システム】 2 土壌侵食防止ブロックマット【ゴビマット】を東日本大震災での貢献事例を中心にご紹介させていただきます。



## ■株式会社ウェザーニューズ

総合防災及び減災への取り組みについて、ウェザーニューズがご提供している防災気象サービスや減災プロジェクト、企業防災サービス等を例にご紹介します。防災気象サービスでは、自治体ごとの気象特性や過去の災害事例を分析し、気象災害特性を把握した上で、情報提供やコンサルティングを実施します。



## ■シェアクレスト株式会社

TouchLives（タッチライブ）は電話による音声一斉警報通知サービスです。住所などを意識せず直感的に。警報は電話による音声。救助要請などを瞬時に表示。メールでは無く「音声での警報」なので高齢者の方にも伝わります。



## ■仙台市

防災対応型太陽光発電システムにおけるこれまでの運用実績を踏まえ、更なる防災性・環境性の向上を図るため、東北大学の知見を活用し、次世代型のエネルギーマネジメントにより蓄電池の充放電の制御する新たな取組をご紹介します。このほか、藻類バイオマスプロジェクト、ドローンソリューション事例についてもご紹介します。



防災対応型太陽光発電システムのイメージ図

## ■世界の医療団

世界の医療団は、紛争などによって医療システムが崩壊されるなどの危機に対し、迅速かつ効率的に対応します。世界中で発生しうる紛争、自然災害や感染症などの危機的状況においても、医療チームを派遣し、あらゆる手段を講じて現地の医療システムをサポートします。



その他、地震等の災害対策、避難所・医療介護支援、総合防災システムなど、最新の防災技術を展開公開します。

最新の出展企業情報はこちらをご覧ください。

URL: <https://www.bousaiten.jp/sendai/2017/exhibitor/>